

日本学術会議 公開シンポジウム

コロナ禍を踏まえた 新たな国土形成計画の課題

主催：日本学術会議地域研究委員会人文・経済地理学分科会

後援：地理学連携機構、公益社団法人日本地理学会、一般社団法人人文地理学会、経済地理学会

問合せ先：日本学術会議人文・経済地理学分科会委員長 松原 宏 E-mail matubara@fpu.ac.jp

■開催趣旨：

2022年7月に、「国土形成計画」（全国計画）の中間とりまとめが公表された。そこでは、「地域生活圏」、「スーパーメガリージョン」、「令和の産業再配置」が、3つの柱として取り上げられている。本シンポジウムでは、次期国土形成計画の3本柱について、人文・経済地理学のこれまでの研究成果をもとに、それぞれの内容を検討するとともに、コロナ禍を踏まえた国土のあるべき姿に関する議論を喚起し、新たな国土形成計画のあり方を考えたい。

■日時：

2022年 12月 23日（金）13:00-16:00

■オンライン開催 参加無料 どなたでも参加いただけます



（事前登録が必要です。下記URLもしくは右上のQRコードへアクセスし、フォームを送信してください。）

<https://forms.gle/ooymG7yPvdirrG5HA>

■プログラム 総合司会 近藤章夫（日本学術会議連携会員、法政大学経済学部教授）

13:00-13:10 開会あいさつ

山本佳世子（日本学術会議連携会員、電気通信大学大学院情報理工学研究科教授）

13:10-13:30 「新たな国土形成計画の策定に向けて」

松家新治（国土交通省国土政策局総合計画課課長）

13:30-13:50 「デジタル田園都市国家構想と地域生活圏」

作野広和（島根大学教育学部教授）

13:50-14:10 「スーパーメガリージョンは地域を共振・活性化するか」

浜口伸明（日本学術会議連携会員、神戸大学経済経営研究所教授）

14:10-14:30 「産業立地の動向と持続可能な産業再配置」

鹿嶋 洋（熊本大学大学院人文社会科学部教授）

14:30-14:40 休憩

14:40-15:00 「コロナ禍を踏まえた観光のあり方について」

吉田道代（日本学術会議連携会員、和歌山大学観光学部教授）

15:00-15:55 総合討論

問題提起「新たな国土形成計画のあり方について」

松原 宏（日本学術会議第一部会員、
福井県立大学地域経済研究所特命教授）

15:55-16:00 閉会あいさつ

森本 泉（日本学術会議連携会員、
明治学院大学国際学部教授）

